

4. 議題

今回の番組審議委員会は、H i t s デイリーエクスプレス内の毎月最終金曜日 午前10時30分～放送『マンスリー・ミュージック・ラヴァース※①』（放送日：10月28日（金）服部 和子ナビゲーター）と、H i t s モーニングエア内、『高山市が生放送で突発的に周知・啓発したいことを、高山市役所職員が紹介する内容について 今回は詐欺被害防止※②』（放送日：12月8日（木） 午前9時30分～中村 よしこナビゲーター）を聴取して審議に入った。

※① 飛騨高山を中心に音楽活動をしている方々に出演頂き、より音楽を身近に楽しんで頂く番組。また音楽活動している出演者も、ラジオを通じてリスナーに知ってもらうことでモチベーションが上がることも目的。

※② 月に1、2回程度、生放送枠を利用して高山市からの突発的に周知・啓発したいことを高山市役所の職員が出演し、話しをしてもらう。

★シティガイド高山（高山市役所情報番組）と似た番組構成ではあるが、タイムリーな情報を入れることが出来る。

☆詐欺被害の注意喚起以外の放送では、コロナウイルス感染拡大と予防等の周知、税金の徴収強化月間について、また、燃料費高騰に伴う暖房費助成事業の話題等も紹介。

5. 議題内容

会 社 側：	審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。
大萱委員長：	只今、聴取した番組についてでも結構だし、普段聴いている番組等で感じていることでも結構なので、皆さんから意見を頂戴したい。
後藤委員：	「ミュージック・ラヴァース」については、地元のミュージシャンを紹介するというので、リスナーからすれば身近に知ることができるし、ミュージシャンは、知名度や活動の幅が広がる観点からすれば、番組制作は非常に良いと思う。気になった点は、番組の冒頭、ミュージシャンの紹介のところで「ヒーヒー」か「ヒンヒン」という呼び方なのか、ミュージシャンの名前が聞き取りにくかった。もう1人も「エルコ」なのか「エルホ」なのか名前がよくわからなかった。なので、ミュージシャンについてゆっくり説明をして欲しかった。アルファベットなどで説明してもらえると、なお、わかりやすかったと思う。また、2人のゲストが出演していたが「関係性」が最後の方によりやく少しわかってきたが、それぞれ単独で活動しているのか、ユニットで活動しているのか、そのあたりを最初に説明してもらえるとよかった

	<p>と思った。</p> <p>「高山市が突発的に周知・啓発したい内容」については「詐欺」についての放送だったので、私どもの業務にも関わってくる話だが（後藤委員は高山警察署員）高山市役所の方に詳しい事例や、被害防止対策などをわかりやすく紹介してもらえてよかった。さらに我々も含め啓発活動などを続けて、被害防止に努めていきたいと思う。</p>
大萱委員長：	私も最初、紹介されたミュージシャンの名前がわからず、少し聞き取りにくかったと思った。マイク調整で、少し聞き取りにくくなったかもしれない。
藤垣委員：	<p>「ミュージック・ラヴァース」については、私も後藤委員同様、ミュージシャンの名前が聞き取りにくかった。また、2人の中の「ヒーヒー」さん？の話が中心で、もう1人の「エルコ」さん？の話題が少なかった気がしたので、ナビゲーターには2人のやりとりをバランスよく紹介してもらおうとよいかと思った。あと、クイズ形式で質問するのは、わかりやすくよかったと思った。</p> <p>「高山市が突発的に周知・啓発したい内容」については、情報発信して頂きありがたい。（藤垣委員は高山市役所職員）今回担当した安江くんは、まだ若いのだが原稿読みではなく、うまく話していたと思う。ただ、彼は優しいところがあり、ソフトな掛け合いが多い気がした。最後の部分の「年末年始は気を付けて下さい」の紹介の仕方は、もう少し力強く紹介して欲しいと思った。</p>
大萱委員長：	高山市役所の「詐欺」についての紹介だが、内容によっては『危機感』がしっかり伝わる言い方があると思う。
松川委員：	<p>「ミュージック・ラヴァース」については他の委員同様だが、全体的には楽しそうなやりとりをしていたのかなという印象だった。2人のゲストだが、最後は音楽活動のスケジュールについて話しをしていたが、普段はどのようなことをしているのか説明が欲しかった。</p> <p>「高山市が突発的に周知・啓発したい内容」については、全体的によかったと思う。最終的にどこに相談、連絡すればよいのか説明があったし、ナビゲーターも復唱していた。ただ「このような対応をしたので防げた」という事例があると、より参考になるのかなと思った。</p>
大萱委員長：	「ミュージック・ラヴァース」は30分番組なのか？
会 社 側：	そうです。聴取した内容は、曲を割愛して15分に編集しているが約30

	<p>分番組です。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>長ければいいものでもないし、短くてダメということでもない。しかしゲストについて知りたいことがたくさんあれば、それなりに時間が必要なのかなと感じる。</p>
<p>渡 邊 委 員：</p>	<p>「ミュージック・ラヴァース」について、雰囲気はとてもいいと思ったが、冒頭、ゲスト2人がしゃべり難そうな感じだったので、最初にナビゲーターから軽く紹介してから、ゲスト2人の自己紹介に振ってあげればよかったと感じた。あとコーナーの流れでカバー曲が最初に紹介され、オリジナル曲が最後に紹介されたが、オリジナル曲を最初に紹介した方がよかったと思った。また、ゲスト2人のインタビューについて、1人の尺が長く、もう1人の尺が短かったので、バランスよくインタビューした方がよいと思った。構成として、もう少しメリハリがあるとよいと感じた。</p> <p>「高山市が突発的に周知・啓発したい内容」については、高山市職員のしゃべりがとても上手だった。ただ、できることなら高山市の啓発活動についてではなく「詐欺の防止について」を中心に話しをしてもらえるとよかったような気がした。また、放送時期も12月の初めではなく、11月ごろの放送だとなおよいと思った。12月にこのような犯罪が多いので、前もって放送した方がよかったのではないかと考えた。</p>
<p>大萱委員長：</p>	<p>放送時期は非常に大事かなと思う。できることなら、事前に放送できるよう早めに段取りした方がよいと思う。</p>
<p>会 社 側：</p>	<p>今回の「高山市からの周知・啓発したい内容」の放送時期について、今年の10月に詐欺被害があった際、高山市に周知・啓発の放送を打診したが、その時点では放送が出来なかった。その後、11月にも詐欺被害があった為、「放送する」という話しまでは進んだが、市役所側の都合で、結果的にこの時期（12月の初め）の放送になった。確かに渡邊委員の意見の通り、もう少し早めに詐欺についての放送をするつもりだったが、このような理由で放送のタイミングが遅くなった。ちなみにこの放送は、12月8日に生放送したものだが、この内容を同時録音して後日、何度か再放送した。これとは別に、詐欺については「高山警察署だより」の番組で、刑事課に出演してもらい放送、再放送をしているし、もちろん他の事案についても本放送、再放送をしている。</p>

大萱委員長：	このような案件は、できるだけ放送してもらえるとありがたい。関係機関との調整は難しいが、放送できるように努力しているのだなと感じた。これからも行政等と協力しながら放送して欲しいと思う。
高原委員：	<p>「ミュージック・ラヴァース」については、聴き取りにくい部分が多々あった。2人ゲスト出演していたが、1人は中津川市から移住して高山に住んでいるし、もう1人は高山市出身者だし、そのあたりの2人についての話を聴ければ、より興味を持つのかなと思った。</p> <p>「高山市が突発的に周知・啓発したい内容」については、高山市職員のトークが今まで聴いた中では上手くしゃべっていると思った。しゃべっている方が若い人だし、職員もこのような機会でない限り、ラジオ等でしゃべることもないので、これからの人にはいろいろ経験して欲しいと思う。</p>
大萱委員長：	私も「Jターンで中津川市から移住してきた」ところに反応した。高山に移住してきた若者の気持ちを知りたいと思った。そのあたりを服部ナビゲーターが突っ込んで聞いてくれるかなと思ったが、質問内容が違う方向に進んでいったので少し残念だった。また、ミュージシャンは人前に出て演奏したり、歌い慣れているからマイクを向けられても、緊張なく話せそうなイメージなのだが、歌うのとしゃべることは違うみたいだ。だから、慣れているからといって特にマイク調整は、気を付けなければいけないと感じた。ところでこの番組は毎週の放送なのか？
会 社 側：	毎月1回、最終金曜日の放送です。この番組も再放送している。今回、聴取した内容は、音楽がしっかりと聴けなかったが、スタジオでギターを持ち込んで生演奏したものやトークを放送しています。
大萱委員長：	<p>企画自体は面白いし、地元にはたくさんのミュージシャン、バンドがあるので、ぜひ、取り上げて欲しいと思う。</p> <p>他に意見はありませんか？</p> <p>ところで、ナビゲーターにコロナウイルス感染者が出て手配に苦労したとあったが、これから年末年始を大変な時期になるので気を付けて欲しいと思う。</p>
会 社 側：	<p>各自、体調管理には気を付けているが、それでもいつ罹るのかわからないし、いつ罹ってもおかしくない状況なので、なんとか感染者が出ないことを祈り、乗り切りたいと思う。</p> <p>本日も貴重な意見を頂き大変ありがとうございました。会社に持ち帰</p>

り、番組向上に繋げて行きます。

6. 審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表 内容、方法年月日

令和4年12月20日（火）番組審議委員会の席上で説明

7. その他の参考事項

次回開催日：令和5年2月下旬

開催場所：飛騨地域地場産業振興センター（予定）